

1. 事業の概要

「屋久島」と「白神山地」は、我が国で最初の世界自然遺産として平成5年に登録され、世界自然遺産地域として必要な保全管理を進めてきた。

しかし、マナーの欠如や利用上の課題が依然として見られ、今後、保全状況を評価すべき物件として世界遺産委員会において審議される可能性もあることから、世界遺産本来の目的についての普及啓発の強化や保全管理手法の向上を図っていく必要がある。

また、世界遺産地域の管理手法をより地域参加型のものに転換していくための方策を検討するとともに、策定後10年が経過した管理計画の改定（屋久島及び白神山地）、利用者負担による施設維持管理の可能性（屋久島）等を検討する。

本年7月に世界自然遺産として登録された「知床」については、入込者の増加による影響を未然に防ぎ、適正な保全管理に向けた検討を行う。

2. 事業計画

(1) 白神山地及び屋久島については、平成18～19年度

(2) 知床については、平成17～21年度

地域名	事業内容	17	18	19	20	21
白神山地	管理計画の改定、地域参加型保全管理手法の検討等			→		
屋久島	管理計画の改定、利用者負担による施設維持管理の検討、地域参加型保全管理手法の検討等			→		
知床	適正な保全管理に向けた検討					→

3. 施策の効果

- ・ 過剰利用等による自然環境への影響を抑制するとともに、適正な利用を推進することにより、世界自然遺産としての価値を将来にわたって保全。
- ・ 開発途上国等における保全管理のモデルとして、導入可能な方策を確立。

世界自然遺産地域保全対策費

「白神山地」・「屋久島」

平成5年：我が国で最初の世界自然遺産として登録

「知床」

平成17年：世界自然遺産として登録

< 世界遺産登録に伴う影響 >

- ・ 入込者数の増加による影響（白神山地、屋久島では1.5～2.0倍程度増加）
- ・ 登山者による踏圧、し尿等による水源地の汚染
- ・ 地域社会に対する社会的影響 等

世界自然遺産地域保全対策費

知床

- ・ 適正な保全管理に向けた検討

白神山地

- ・ 管理計画の改定
- ・ 地域参加型保全管理手法の検討 等

屋久島

- ・ 管理計画の改定
- ・ 利用者負担による施設維持管理の検討
- ・ 地域参加型保全管理手法の検討 等

世界遺産本来の目的についての普及啓発の強化や保全管理手法の向上

世界自然遺産としての価値を将来にわたって保全